

## 研究協力のお願

昭和大学江東豊洲病院 との ずえ小児科 では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

コメントの追加 [富野1]:

スポットビジョンスクリーナーによる小児の屈折異常の疫学調査
<b>1. 研究の対象および研究対象期間</b> ・2018年4月17日に辰巳小学校において健康診断時にスポットビジョンスクリーナーにより屈折検査を受けた児童の方  ・2023年4月1日から8月15日までのずえ小児科でスポットビジョンスクリーナーにより屈折検査を受けた患者さん
<b>2. 研究目的・方法</b> 近視は増加し重症化しており将来失明が増えると言われていています。近視は主に小学生で起こります。そこで上記の方から得られたスポットビジョンスクリーナーの検査結果から近視があるかどうか、それが重いかどうかを評価します。2つの期間の近視の頻度を学年ごとに比べることで近視が低年齢化しているかがわかります。低年齢で発症するほど重症化するので低年齢化がおきているかどうか調べることは重要です。さらに今後の近視を調べることで近視の頻度や重症度が変わっていないかがわかります。
<b>3. 研究期間</b> 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2030年03月31日まで
<b>4. 研究に用いる試料・情報の種類</b> 年齢、性別、学年、スポットビジョンスクリーナー測定値（球面度数、等価球面度数、円柱度数）
<b>5. 外部への試料・情報の提供</b> 本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は各共同研究機関の外部から切り離されたコンピューター内に保存されます。

**6. 研究組織**

研究代表者 昭和大学江東豊洲病院 小児内科 阿部 祥英  
研究責任者 のずえ小児科 野末富男

**7. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：のずえ小児科 氏名：野末富男  
住所：東京都江東区東雲 1-9-11-102 電話番号：03-5560-6071